

受章者・被表彰者紹介

叙勲受章者および各種表彰を受けた皆さんを紹介します(敬称略)。

高齢者叙勲

◆瑞宝双光章



高橋 暎
(八日市場1)

昭和26年、旭市立豊畑小学校の教壇に立って以来、八日市場市立共興小学校長、同椿海小学校長、同中央小学校長などを歴任。42年の長きにわたり児童生徒の教育に尽力し、学校教育および社会教育の振興に寄与されました。

危険業務従事者叙勲

◆瑞宝双光章(警察功労)



武内 茂
(八日市場1)

昭和42年、千葉県警察に奉職して以来、42年の長きにわたり職務に精励。成田国際空港開港前、機動隊員として開港に伴う警備に携わった後、刑事警察官として凶悪事件を担当。また県警本部と不在交番との連携強化にも寄与されるなど、住民生活の安全と治安維持に尽力されました。

表彰

◆更生保護事業功労者表彰

罪を犯した人および非行のある少年・少女の改善更生と再犯防止に尽力されています。
▽法務大臣表彰



菱木 智仁
(八日市場ホ)

▽全国保護司連盟理事長表彰



伊藤 幸夫
(川辺)

▽日本更生保護女性連盟会長表彰



伊東 秀子
(八日市場1)

▽関東地方更生保護委員会委員長表彰



鵜之沢 祥一
(蕪里)

▽千葉県知事感謝状

伊藤 芳樹(堀川)
林 明敏(野手)
小川 不二夫(新堀)

◆千葉県教育功労者表彰



椎名 和浩
(八日市場ハ)

昭和58年に教壇に立って以来、県・市教育行政勤務を経て千葉県中学校長会副会長を務め、現在匝瑳市立八日市場第二中学校長。美術科教育の振興に尽力し、千葉県教育の進展に寄与されました。

◆千葉のちから「中小企業・小規模企業表彰」

▽商店街表彰

八日市場本町通り商店街協同組合 観光客の増加などを目的に「商店街散歩マップ」を作成し、地域のイメージアップに貢献。また、休憩スペース「ポケットパーク」を開設し、施設内に地元の人たちやイベントの写真を展示。憩いの場、交流の場の創出に寄与されています。

◆経済産業省大臣官房調査統計グループ長感謝状

田守 薫(高)

税の作文 入選者の紹介

中学生の「税についての作文」の入選者を紹介します。

▽銚子税務署長賞

熱田 愛優美さん(八日市場第二中学校3年)

▽匝瑳市長賞

片岡 七瀬さん(八日市場第二中学校3年)

▽銚子税務署管内納税貯蓄組合

総連合会優秀賞

宇野 萩温さん(八日市場第二中学校3年)

中学校3年)

匝瑳でかなえた、夢の田舎暮らし 移住者目線で魅力発信

匝瑳、旭、銚子の3市合同で、海匝地域の魅力を伝える「ちば移住セミナー」が11月20日、オンラインイベントとして開催されました。

本市からは、2年前に都内から移住した内山隼人さんがゲストとして招かれ、移住を決意した経緯や田舎でのライフスタイルなどを紹介。内山さんは「先輩移住者の力強いサポートもあり、夢だった“子どもと一緒に田んぼで泥遊び”が実現できました。充実した毎日を送っています」と自身の体験を交えながら、参加者へ本市の魅力を伝えていました。



画面越しに本市の魅力を発信する内山さん



太陽光発電設備の前で球根を植える参加者

飯塚開畑でチューリップ球根植え 春が待ち遠しい

飯塚開畑で12月13日、同地区の環境保全会が主体となってチューリップ球根の植え付け作業が行われました。これは地域の環境保全と景観向上、そして都市と農村の交流を目的としたもので、地元住民を中心に都市部の人も参加し、約40人が500㎡以上の敷地に、10種類以上の球根を植えました。

同会代表の椿茂雄さんは「昨年も実施し、とても好評だったので今年は規模を拡大して行いました。春には色とりどりのチューリップが、皆さんの目を楽しませてくれると思います」と話していました。

避難所開設訓練を実施



訓練の様子

共興地区の自主防災組織「共興地区を守る会」主催の避難所開設訓練が、12月12日に共興小学校体育館で行われました。訓練では、新型コロナウイルスに感染した疑いのある人を別室に案内する訓練や、簡易型避難用テントや段ボールベッドを組み立てる訓練などが行われました。同会の宇野富士夫会長は、「これからも訓練を続け、いざというときに対応できるようにしたい」と話していました。

LED防犯灯を整備

中央地区・箆部田区で、通学路などに区で所有するLED防犯灯44灯が新たに整備されました。これは、宝くじの社会貢献広報事業の一環として、一般財団法人自治総合センターから助成を受けたものです。これにより地域の犯罪抑止力の向上が図られます。



宝くじのマスコット「クーちゃん」のプレート(写真上)とそのプレートが付いた防犯灯

新しい消防指令車を配備



貸与した消防指令車

多発する災害における迅速な対応や指揮命令の伝達などを確実にするため、12月24日、市から消防団本部に新たな消防指令車を貸与しました。

この車両は、公益財団法人日本消防協会が行う令和2年度福祉共済事業により、本市に交付されたものです。

市民病院へ寄付と感謝の言葉が寄せられました。



「病気になった母に最期まで心温まる対応をしてくれた市民病院と訪問看護ステーションつばきの里のスタッフに感謝の気持ちを込めての寄付です。母は、亡くなる数日前に『世界一の介護を受けている』と話していました。母を支える私たち家族にも丁寧な対応をしていただきました。」